

2020.08.04

# 京大病院医療安全情報 125

## 【 2回チャレンジルール 】

### 事例

体重約15kgの患児。持参薬として普段アスピリン末を1日1回0.03g (=30mg) 内服していた。頓服で、アスピリン末が1回量0.15g (=150mg) でオーダーされた。

#### 疑義照会 1回目)

薬剤師「10mg/kgで問題ないですか」

医師「問題ないです」

#### 疑義照会 2回目)

薬剤師「0.15g (=150mg) ではなく、0.015g (=15mg) の10倍量間違いだと思います。ご確認をお願いします。」

医師「1回15mgのつもりだった、1回量0.015gが正しい。」



換算間違いによる  
インシデントと  
考えられます

ほんまや、  
教えてくれて  
ありがとう



インシデント報告に基づいた対策です

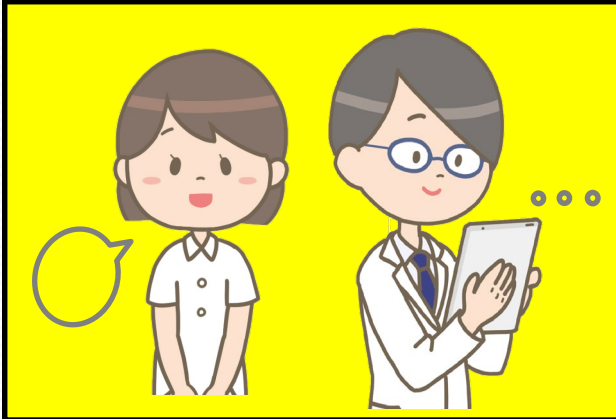
## 京大病院医療安全情報125

2回チャレンジルールには、

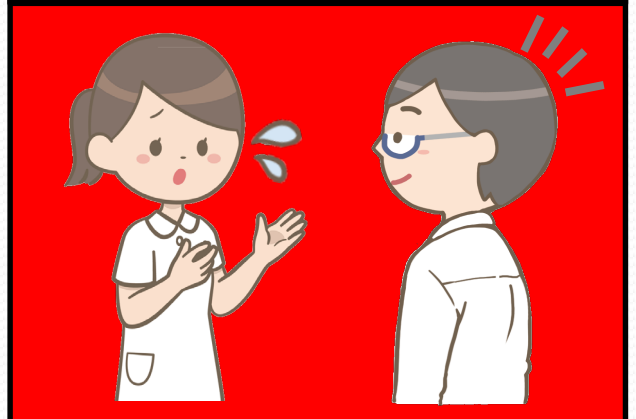
チャレンジする側とチャレンジを受ける側の

両者にルールがあります

1回目



2回目



### チャレンジする側のルール

- 1回目の主張が聞き入れられなかった場合も、諦めず少なくとも2回は心配事を伝えましょう。
- 相手に疑問点を明確に伝えるため、具体的に示しましょう。
- 心配事を無視されたり、よく考えずに却下されて対応されない場合は、より強めに主張しましょう。患者さんの安全のために、上位のスタッフに相談するなど強硬な対応をとりましょう。

### チャレンジを受ける側のルール

- 主張を受けた側は、その心配事に耳を傾け確認しましょう。